

海氷海難対策へのALOSデータの活用



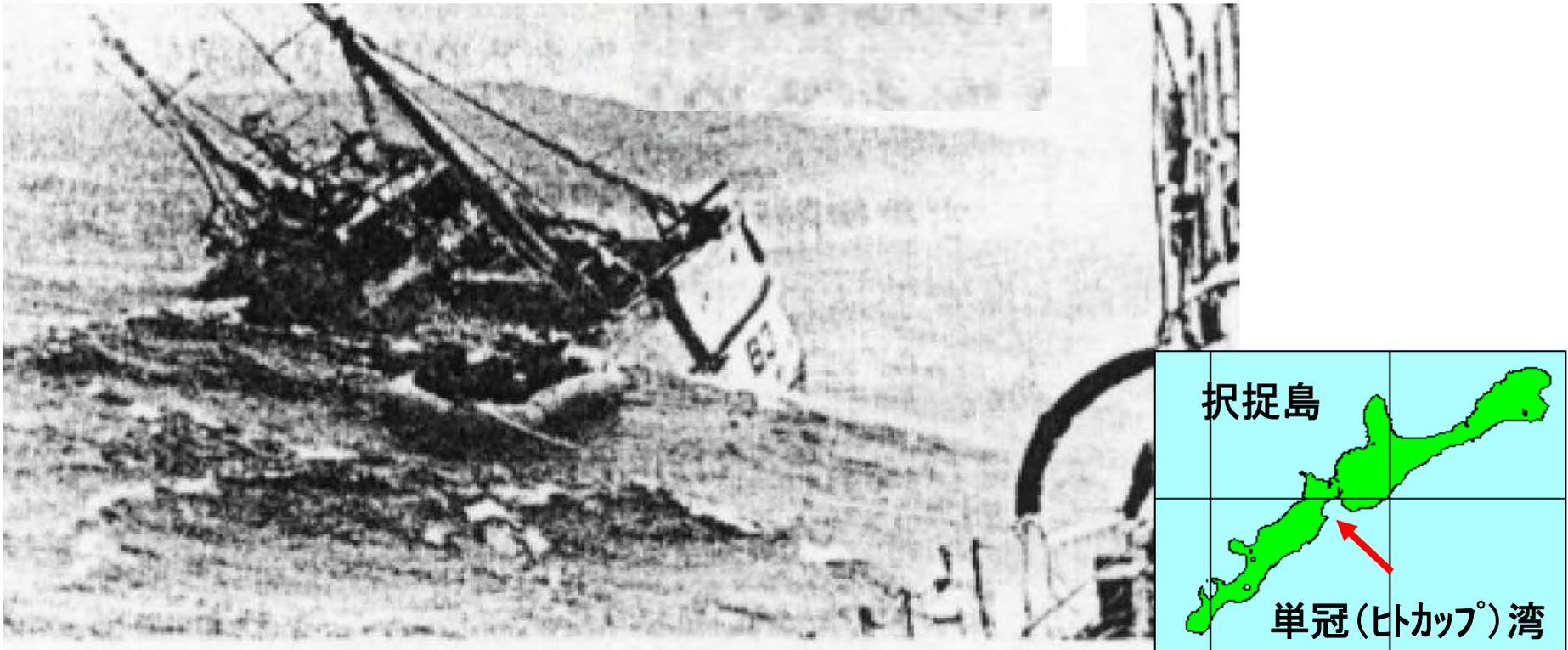
海上保安庁海洋情報部

内容

- 海氷情報の重要性
- 共同研究の概要
- 課題
- JAXAへの期待

海氷情報の重要性

1970年3月、択捉島の単冠(ヒトカップ)湾
流氷により7隻の沖合底引漁船が遭難。
2隻は曳航救助されたが、残る5隻は転覆・沈没。
乗員114名の内、30名が死亡・行方不明。



海氷海難対策

1970年 海氷情報センターの設置

- ・巡視船・航空機によるアイスパトロールの開始
- ・毎日の海氷情報電報(氷域縁辺の位置)
- ・10日毎の海氷速報(海氷分布図)の郵送

1988年 海氷速報のFAXによる提供開始

1997年 インターネットの利用

海氷速報を日々更新して提供を開始

海水速報(海水分布図)



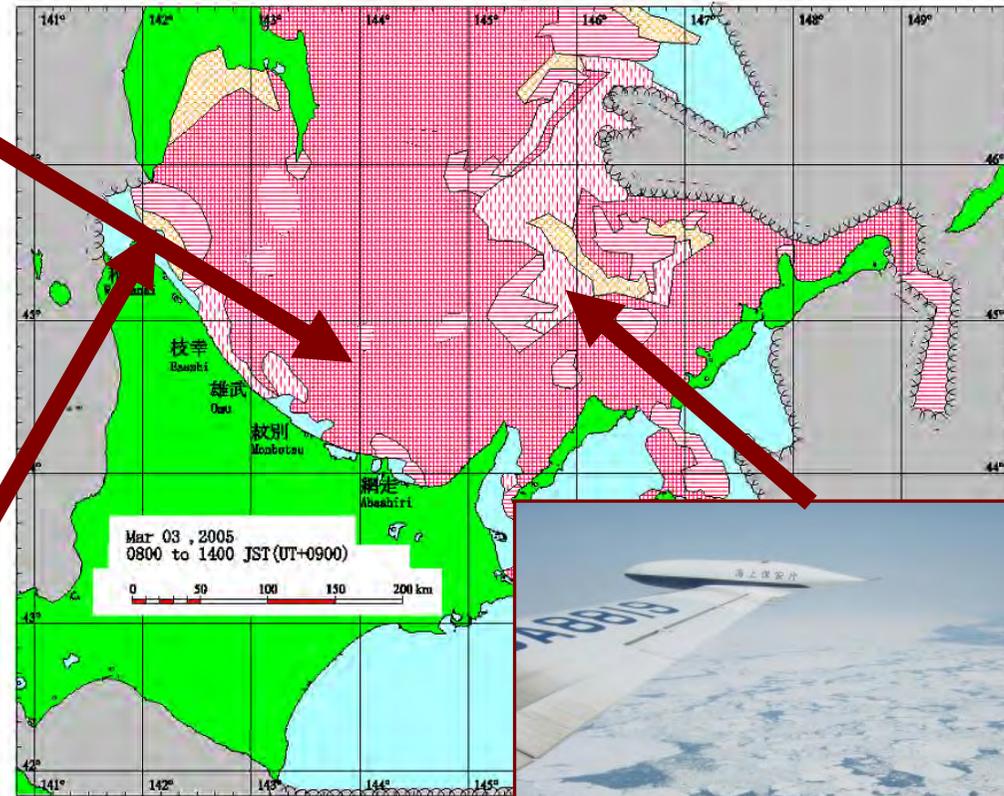
密接度9-10



密接度1-3

海水速報 (2005年03月03日)

第一管区海上保安本部流氷情報センター

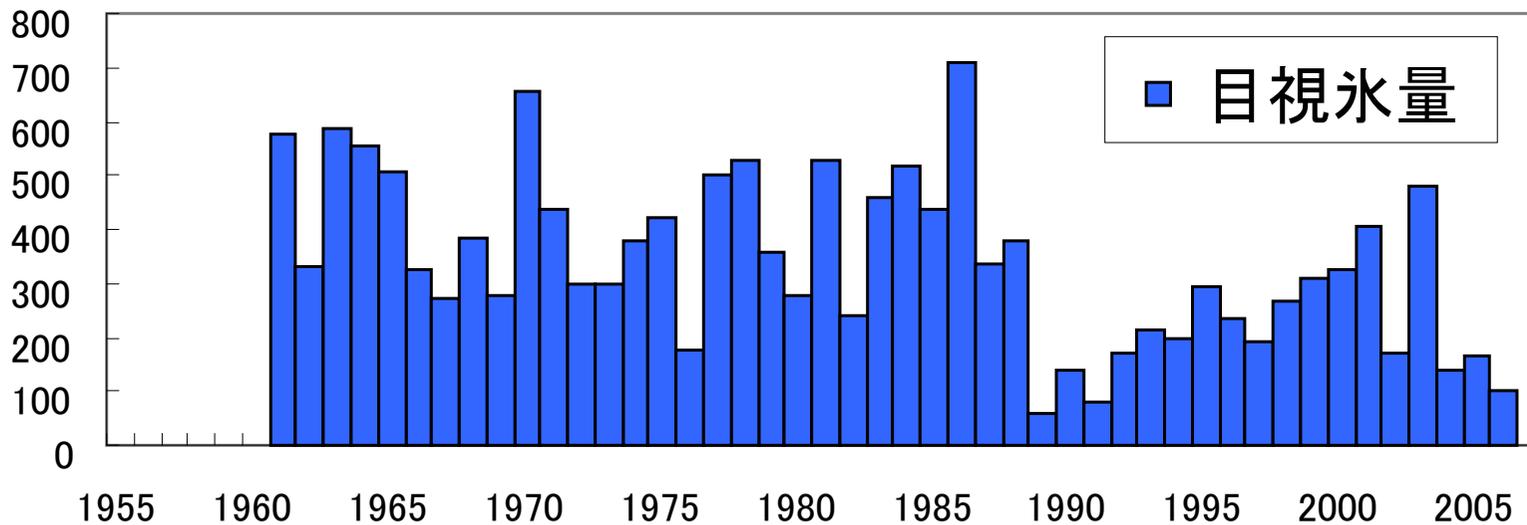
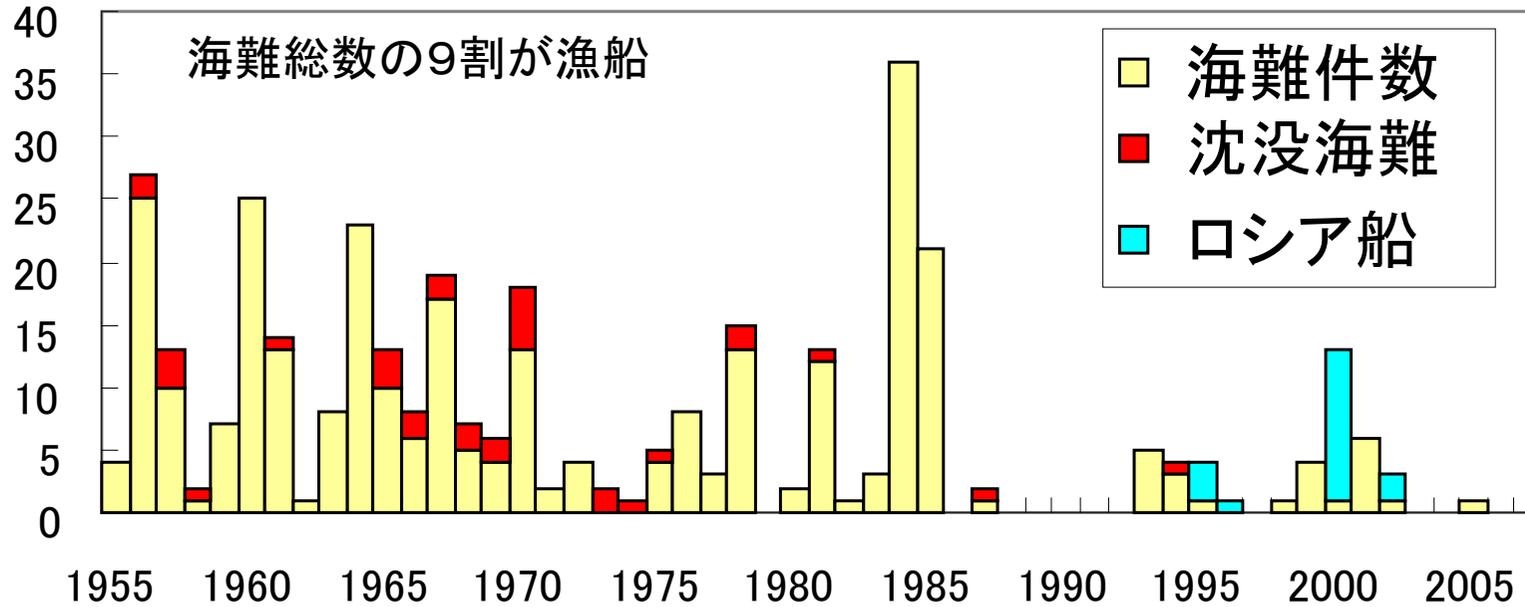


凡例
 数字は密接度 密接度
 ある水域の中の氷の分布状態
 その平均の密集程度を10%

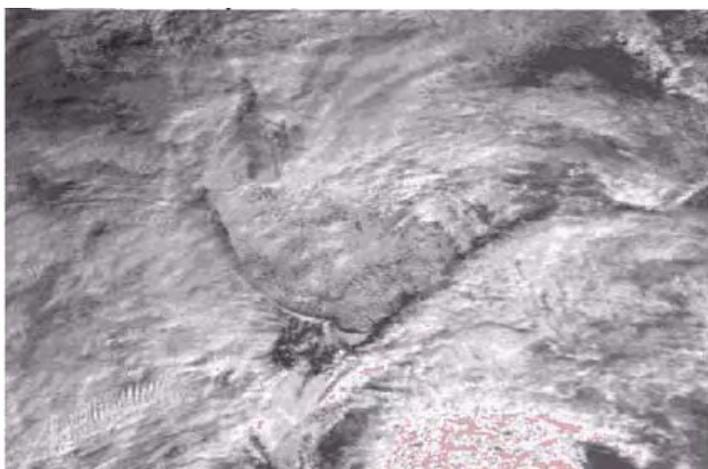
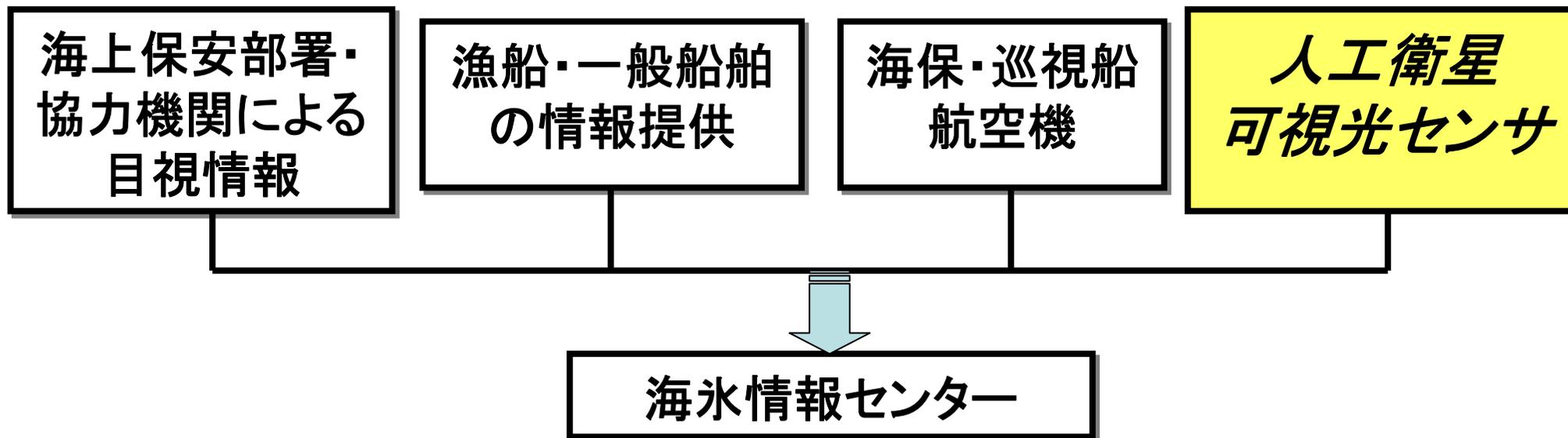


密接度7-8

海水海難件数の推移



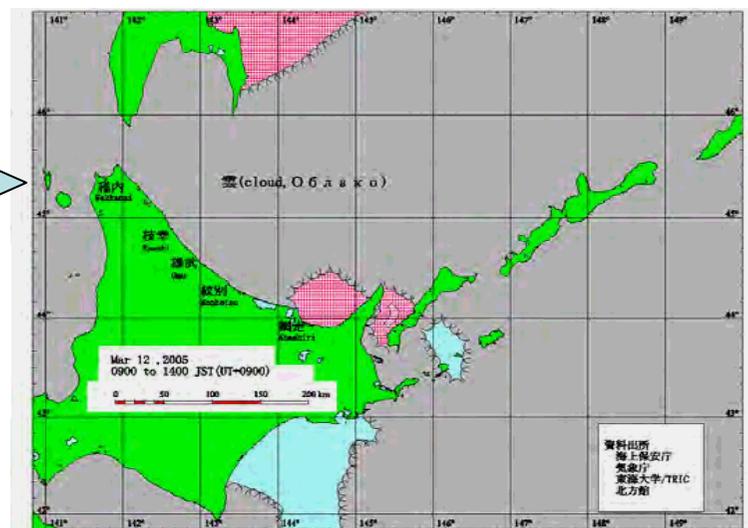
海水情報の収集手段



NOAA画像



問題点：
雲で被覆



JAXAとの共同研究の概要

■ 研究目的

ALOSデータの海氷観測分野での利用実証

■ 研究期間

2005年度～2009年度

■ 研究内容

- ① 海氷分布図作成のアルゴリズムの開発(JAXA)
- ② 衛星データ配信の開発(JAXA・海保)
- ③ 海氷分布図の評価(海保・JAXA)
- ④ 海氷速報への利用手法の検討(海保)